

力を送球

ハンドボール競技を成功へ

競技が行われます。本大会をおよそ1年後に控えて、去る8月7日から11日まで、国体
メント男子の部が市川市で開催され、ボランティアの協力で成功裏に幕を閉じま
多選が男女とも市内で開催されました。来年の国体も、市民の皆さんの力を借り
ールしたいものです。そこで、大会の概要をお知らせするとともに、ハンドボール



豪快

張る

変幻

えた市民ボランティア



「おまげー!」と、ボランティアの皆さん



旗を掲げてお出迎え

の受け付け、場内整理、会場周辺の
々にボランティアとして協力いただき
式でのエレクトーン演奏や試合中の
小中学生が種から育てた「おもてなし
が試合会場を彩りました。



笑顔で、のどの渇きを癒します



栄誉を称え、表彰式の介添え

市川を訪れる全国の
の方々をおもてなしするお
手伝いがしたかった。

ボランティアとして いただいた方の声

会社一筋の現役から退
いたので、地域でお役
に立ちたかった。

スピードが魅力のハンドボール

ハンドボールは、手を使って相手のゴールにシュートを決める競技です。試合は1チーム7人、1人のゴールキーパーと6人のフィールドプレイヤーで攻守を行い、攻撃はバスケットのようにドリブルやパスを駆使します。攻守の切り替えが目まぐるしく、男子成人では1分に1点の割合で得点が入る、まるでジェットコースターに乗っているかのようなスピード感あふれるスポーツです。

競技時間は、前・後半30分で競技時間中の選手交代は、審判に申告しなくても、何度も自由にすることができます。

ボールを味方に送りながらチャンスをうかがい得点することから「送球」とも言われます。

日本最大のスポーツの祭典 国体

国民体育大会は、広く国民にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上、地方スポーツの振興、地方文化の発展を目的に、毎年各都道府県を持ち回りで開催される日本最大のスポーツの祭典です。略して「国体」と呼ばれています。

第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」の会期は、平成22年9月25日(土)から10月5日(火)まで、ハンドボール競技は、9月30日(木)から10月4日(月)の間に行われます。

市川市の開催競技	ハンドボール
参加チーム数	成年男子(16チーム)
	少年女子(16チーム)
	成年女子(19チーム)
競技会場	国府台市民体育館
	塩浜市民体育館
	市川学園古賀記念体育館
	昭和学院中・高等学校体育館

※少年男子は香取市で開催



(女子少年の部トキめき新潟国体関東ブロック予選)



連携



(女子少年の部トキめき新潟国体関東ブロック予選)



市民の 千葉国体ハンド

国民体育大会は平成22年千葉県で開催され、市川市では、ハンドボール競技のリハーサル大会として、ジャパンオープンハンドボールトーナメントを開催しました。また、8月21日から23日までは、今年のトキめき新潟国体の関東ブロックの予選で、成功へ導き、全国から市川を訪れる関係者に活力ある市川市の魅力をアピールし、競技の魅力を紹介しました。(国民体育大会担当室)

晴れ舞台、来年はマリスタジアムで

ゆめ半島千葉国体イメージソング♪
CARNAVAL～すべての戦う人たちへ～♪
を作曲した中村正人さん(DREAMS COME TRUE)の後輩・国府台高校の生徒たちが、先輩の曲に振り付けしたダンスを、決勝のハーフタイムに披露。今後は、本番の千葉マリスタジアムでの開会式、晴れ舞台で踊りを披露する夢に向けて練習に励みます。



市民の「手」で市川の千葉国体を成功へ

大会ボランティア募集中

皆さんが主役となって、全国から訪れる選手や監督など関係者に、温かいおもてなしをして、市川の魅力を全国にアピールできるように、積極的な国体への参加をお願いします。

■主な活動内容

- 競技会ボランティア:受け付けでの運営補助、会場整理、弁当配布、会場内清掃など
- 式典ボランティア:表彰式などの運営補助
- おもてなしボランティア:総合案内所での運営補助、歓迎装飾の作成(花の育成や歓迎旗づくり等)、会場周辺的环境美化など
- その他:上の分類に関係なく、ボランティアとして参加していただける方

人平成3年4月1日以前生まれの方 問 ☎704-0268国民体育大会担当室

選手を応援

ゆめ半島千葉国体で実施する競技すべてを観戦することができます。競技によっては施設などの都合で入場を制限する場合や有料の場合もありますが、市川市で行われるハンドボール競技は無料です。全国から集うアスリートの激突を体感しに競技会場へ応援に出かけてみてはいかがでしょうか。

※詳しい日程や会場は後日お知らせします。

リハーサル大会を支える



児童・生徒の育てた花を手入れしながら、会場周辺をきれいに



大会最終日、あと一日「がんばるぞい」



受け付けは明るく笑顔で



汗ですべらないようにコートキーパー大忙し

開会式の司会を始め、会場環境美化など多くの市民の方々が参加しました。市内の高校生も開会式のコートキーパーとして活躍し、小中学生は「花のサルビアとマリーゴールド」を育てました。

若い頃、スケートで国体出場したことがあるので、恩返しのため協力したい。

ボランティア
参加したい

普段、体育館を利用しているので、感謝の気持ちで応募しました。